



学校便り 太田っ子

令和3年4月30日

- めざす子ども像
- ㊦もいやりのある子
 - ㊦もいっきり勉強する子
 - ㊦くましく生きる子

校庭の新緑が、目にまぶしく映る素敵な季節となりました。運動場からは、子どもたちの歓声が響いてきます。

入学して3週間が過ぎ、1年生もずいぶん学校生活に慣れ、すっかり“太田っ子”の一員です！給食当番やおそうじもがんばっています。2年生以上の子どもたちも、1つお兄さん・お姉さんになった自覚と、新しい仲間・学級でのふれあいの中、ちょっぴり自信に満ちた笑顔が見られます。

5月11日まで4都府県への緊急事態宣言が発出されています。和歌山県でも感染の拡大が顕著に表れ、感染者数の増加や病床のひっ迫などが報道されています。それに伴って、授業参観や遠足の中止など学校行事にも大きく影響を及ぼしています。今後の状況を注視し、適切な対応をとらなければなりません。子どもたちの楽しい活動をできる限り残しながら、感染対策をしていきたいと思っています。ご協力をお願いします。

太田っ子の朝の様子を紹介します

校門付近の登校風景です。この日は雨。傘をさしながら車に気を付けての登校です。普段は児童会のお兄さんお姉さんたちが校門で元気にあいさつをしてくれます。同時に一人一人とジャンケンをしてくれます。



早く登校した子は、運動場に出て思い思いに遊びます。元気いっぱいです。チャイムが鳴ると、もくもく掃除の始まりです。太田っ子はみんなしっかり働きます。校舎は古いですが、とてもきれいなのはこのお掃除のおかげです。

お掃除が終わると、自分のクラスに戻って読書タイムをします。読書から学ぶところはとても大きいです。しっかり本を読んで本の中で様々な体験をしてほしいです。また、朝の授業前に、静かで落ち着いた雰囲気を作り出すことにも役立っています。そのまま集中して1時間目に入ります。



(校長 市川 哲哉)